

令和3年度 みなみから届ける環づくり会議・通常総会

と き 令和3年6月16日（水）16:00～17:30

ところ 南部総合県民局保健福祉環境部（阿南庁舎）
2階・大会議室（阿南市領家町野神319）

【次第】（16:00～16:45）

- 1 開 会（議長あいさつ）
- 2 報 告
 - (1) 会員の入会について
- 3 議 題
 - (1) 議題1 令和2年度事業実施結果及び決算について（案）
 - (2) 議題2 役員の改選について
- 4 その他
 - (1) 令和3年度事業計画及び収支予算、事業進捗状況について
 - (2) ボランティア活動証明制度に係る表彰要項(2021年度版) について
 - (3) ボランティア受入れの協力依頼について
 - (4) 意見交換
- 5 閉 会

【研修会】（17:00～17:30）

記念講演 「WITHコロナ」から「アフターコロナ」へ
講 師 徳島県知事 全国知事会会長 飯泉嘉門

みなみから届ける環づくり会議

会員の入会について

規約第6条に基づき、次の2者から入会希望があり、令和3年度第1回臨時総会（書面）において承認されましたので、御報告いたします。

番号	所 属	入会届受付日
1	阿佐海岸鉄道株式会社	令和3年4月1日
2	徳島バス南部株式会社	令和3年4月1日

【環づくり会議規約】

(入会)

第6条 環づくり会議への入会を希望するものは、所定の様式による申し込みをし、総会の承認を得るものとする。

令和2年度事業報告及び収支決算について(案)

1 実施期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 実施概要

令和2年度は、「水質」及び「参加協働」の各ワーキンググループ（以下「WG」とする。）で検討を行い、各種事業を実施した。

(1) 参加協働の推進

① ボランティア活動証明制度の普及等

ア 制度の周知等を行うとともに、民間企業等が行う環境保全活動のボランティア情報を各高等学校等に提供したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア受入れ延期・活動自粛などが生じ、活動自体が極端に低調であった。

なお、ボランティア情報交流会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

イ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ボランティア活動に参加する機会が激減したため、制度の表彰基準を改訂し、実情に応じた対応を図ることとした。

ウ 制度創設3年を迎え、表彰基準を満たした高校生1名に対し、表彰状等を授与した。

エ ボランティア活動手帳（令和2年版）を県南の高校等の生徒全員に配布した。

② 関係団体等が取り組む環境活動への協力・協働

環境活動に地域住民等が参加・協働できるきっかけや場所づくりを目的として那賀町に整備された「なかなかの森」及び隣接地において、那賀高校が行う在来種の植栽や下刈りなどの環境整備に協働した。

(2) 水環境の保全活動推進

小中学校の環境教育を支援することを目的とし、小学生を対象とした「川の調査探検（河川調査ツアー）」として、阿南市の打樋川及び福井川でそれぞれパックテスト（COD、pHなど）を実施するとともに、阿南市こどもフェスティバルに出展し、保護者とともに地域の水環境について理解を深めるための普及啓発を行う計画であったが、新型コロナウイルス感染症対応のため、いずれも中止せざるを得なかった。

このため、川の水質保全の大切を呼びかける「川の水質保全啓発パンフレット」を作成し、関係団体に配布するとともに、今後のイベント等で活用することとした。また、CODパックテストや透視度の測定方法等をわかりやすく掲載した「川の探検隊パンフレット」を作成した。

(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

環づくり会議が実施するイベントが中止になることを念頭に、令和3年度からオンラインによるバーチャル体験等ができるコンテンツを展開していくための実効手段について検討した。

(4) 事業実施状況

① 総会・幹事会・運営委員会開催状況

項目	事業内容	実施日	実施場所	概要
総会・幹事会 運営会議等	○運営委員会（計5回） ○幹事会・通常総会 ・R元年度事業報告 ・R2年度事業計画 ・ボランティア活動証明制度 ・研修会（SDGs研修会） ○臨時幹事会 ○臨時総会	2. 6. 3		※電子メール形式
		2. 7. 16		
		2. 8. 26		
		2. 10. 29		
		3. 3. 9		
	2. 6. 30			
		3. 3. 16		※電子メール形式
		3. 3. 24		※電子メール形式

② 事業実施状況詳細

事業項目	事業内容	実施日等	場所等	備考
ボランティア活動 の促進及び参加 協働に関する こと	①ボランティア活動証明制度のボ ランティア活帳手帳配布 ②ボランティア活動証明制度審査 会の開催 ③被表彰者への表彰状授与 ④ボランティア活動報告会 ⑤参加協働WGでの検討 ・研修会 【計1回開催】	2年4月		○A6版:P22/2,000部 ※電子メール形式 (委員5名) ○被表彰者: 県立阿南光高等学校 3年生1名を表彰
		2. 10. 16		
		2. 12. 18		
		【中止】		
		2. 8. 26		
水環境の調査 及び保全活動 の推進に関する こと	①川の体験隊 ②イベントへのブース出展 ③水質WGでの検討 【計4回開催】 ④パンフレット作成 「川の調査探検隊」 「使ったお水はどこへ行く の？」	【中止】		※3イベントに参加 予定→いずれも中止 ※電子メール形式 ○A4版:P8/ 100部 ○A4版:P4/2,000部
		【中止】		
		2. 5. 19		
		2. 7. 13		
		2. 12. 10		
参加協働に関 すること	①「なかなかの森」環境整備・環境教育事業への協働 参加(植樹等)	3. 2. 25		
		3年3月		
		2. 11. 12	那賀町	○那賀高校と協働

2 収支決算

【収入の部】

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
日亜ふるさと振興財団 助成金	200,000	200,000	0	
自己負担分（利子等）	10	1,000	990	寄付
合 計	200,010	201,000	990	

【支出の部】

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考	
水環境の 保全活動	需用費	126,010	200,000	73,990	パンフレット作成等
	活動広報費	13,000	0	▲ 13,000	（チラシ作成）
	借 損	58,000	0	▲ 58,000	（バス借り上げ）
	保 険 料	3,000	0	▲ 3,000	（傷害保険料）
	小計	200,010	200,000	▲ 10	
繰 越 金	0	1,000	1,000	次年度へ繰越	
合 計	200,010	201,000	990		

【参考】 県事業費

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考	
ボランテ ィア活動 証明制度 の普及等	需用費	114,000	114,000	0	活動手帳印刷等
	報 償 費	46,000	1,000	▲ 45,000	表彰記念品等
	旅 費	0	0	0	
	役 務 費	20,000	20,000	0	郵送代
合 計	180,000	135,000	▲ 45,000		

令和2年度みなみから届ける環づくり会議監査報告書

規約第10条第3号の規定に基づき、令和2年度事業報告書に記載された運営状況を監査した結果については、次のとおりである。

1 事業全体

事業報告書について監査した結果、みなみから届ける環づくり会議の事業趣旨に適合した内容の活動が行われたと認められます。

2 収支関係

令和2年度実施事業については、一般財団法人日亜ふるさと振興財団の助成金を受けるとともに、徳島県環づくりボランティア促進事業を活用しており、内容を審査した結果、適正に実施していると認められます。

みなみから届ける環づくり会議監事

令和3年6月14日

中山けい

令和3年6月14日

清水幸夫

議題 2

役員改選について

規約第11条の規定に基づき、役員任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終の者に関する通常総会の終結の時までとなっており、今回任期満了を迎えることから、本総会において、改選をお願いしたい。

(敬称略)

役職名	現体制	新体制
議長	大田 直友 (阿南工業高等専門学校准教授)	
副議長	澤田 俊明 (有限会社環境とまちづくり代表)	
副議長	西山 成実 (日亜化学工業株式会社 [環境安全本部] 部長)	
監事	平山 けい (阿南工業高等専門学校校長)	
監事	清水 幸夫 (阿南市市民部環境保全課課長)	

現任期：令和元年6月21日から令和3年6月16日まで

新任期：令和3年6月16日から令和5年通常総会まで

【環づくり会議規約】

(役員)

第8条 環づくり会議に次の役員を置く。

- (1) 議長 1名
- (2) 副議長 若干名
- (3) 監事 2名

(役員選出)

第9条 役員は総会において選任する。

- 2 役員が欠けたときは、補欠を選任することができる。この場合の選任においては前項の規定を準用する。
- 3 議長、副議長及び監事は相互に兼ねることができない。

(役員任期)

第11条 役員任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとする。ただし再任は妨げない。

- 2 役員が欠けたことにより、補欠として選出された役員任期は、前任者の残余期間とする。
- 3 役員は辞任または任期満了の後においても、後任者が就任するまでの間は、その職務を行うものとする。

令和3年度事業計画及び収支予算(R3.3.24臨時総会において議決)、 事業進捗状況について

1 実施方針

(1) 高校生等によるボランティア参加促進を図るため、引き続き「ボランティア活動証明制度促進事業」を実施するとともに、水環境の保全の大切さを醸成するため、小学生を対象とした「川の調査探検隊」を開催する。

実施に当たっては、令和2年度のPDCAサイクルを踏まえながら、新型コロナウイルス感染症への対応も含め、リアル体験ばかりではなく、Webやオンラインのツールを活用した啓発活動を、ボランティアや関係機関の協力を得ながら、同時に実施していくことを加味していく。

(2) 参加協働WG及び水質WGの活動を継続するとともに、参加協働WGの中で、県南圏域の環境を柱とした「ローカルSDGs」について研究・情報共有を深める。

2 実施する事業

事業項目	事業内容	実施時期	場所等	備考
環づくりボラン ティア促進事業 新	①「ボランティア活動証明制度」の周知及び活動情報の提供等 ○活動情報リストの提供 ○活動報告会の実施 ○活動手帳配布（更新版） ○表彰基準に基づく表彰及び活動認定 ② ボランティア受入れ協力団体の増加促進 ③ 助成金を活用した、高校生ボランティア促進のためのモデル事業の実施 ④ SNS等による発信	随時 4年3月 3年4月 随時 随時 3年4月 ～12月 3年4月 ～ 随時	阿南市内	県南6校の高校生に配布 表彰目標3人以上 4団体以上 インスタグラム ツイッターほか
他団体との参加協働	①那賀町内の「なかなかの森」及び隣接地において、地元高校が行う在来種の植栽や下刈りなどの環境整備活動の支援を行う。 ②県、NPO法人等のイベントに参加・協力	3年11月 随時	那賀町	県立那賀高等学校

事業項目	事業内容	実施日時	場所等	備考
水環境の調査及び保全活動の推進に関すること	①川の調査体験隊の実施 ①イベントでの啓発活動 (ブース設置、水質調査体験等)	3年7月 3年11月	県南圏域 阿南市	阿南市こどもフェスティバル ほか
総会	①通常総会 ②臨時総会	R3. 6. 16 随時 (第1回 R3. 5. 14)		研修会実施 電子メール形式
部会（ワーキンググループ）	①参加協働部会（WG） ②水質部会（WG）	通年 通年		
運営委員会		通年 (第1回 R3. 5. 12)		年4回程度 Web形式

3 収支予算

【収入の部】

単位：円

項 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
日垂ふるさと振興財団 助成金	400,000	200,000	200,000	
自己負担分（利子等）	1,010	10	1,000	寄付繰り越し,利子
合 計	401,010	200,010	201,000	

【支出の部】

単位：円

項 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
水環境の 保全活動 (川の調 査探検事 業)	需 用 費	86,010	126,010	▲ 40,000	水質検査資材ほか
	活動広報費	13,000	13,000	0	パンフレット作成
	借 損	58,000	58,000	0	バス借り上げ
	役 務 費	3,000	3,000	0	傷害保険料
	小計	160,010	200,010	▲ 40,000	
ボランテ ィア活 動普及 促進実 践事 業	需 用 費	200,000	0	200,000	消耗品等
	活動広報費	10,000	0	10,000	チラシ作成
	借 損	20,000	0	20,000	会場借り上げ
	役 務 費	10,000	0	10,000	郵送料等
	小計	240,000	0	240,000	
繰越金	1,000	0	1,000		
合 計	401,010	200,010	201,000		

【参考】 県事業費

単位：円

項 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考	
ボランテ ィア活 動	需 用 費	132,000	114,000	18,000	ボランティア手帳作成
	報 償 費	40,000	46,000	▲ 6,000	表彰記念品等
証明制 度の普 及等	旅 費	8,000	0	8,000	費弁旅費
	役 務 費	0	20,000	▲ 20,000	
合 計	180,000	180,000	0		

<新規事業>

助成金を活用した高校生ボランティア促進のためのモデル事業

1 趣 旨

県南地域の高校生に、公共交通機関の駅舎等での環境ボランティア活動を通じて、公共交通機関が果たす環境面及び社会面での役割を体感し、発表会やSNS発信等による啓発活動にも取り組んでいただくことで、ボランティア活動の輪を広げる。

地域と連携した活動を実施し、日ごろから学校で取り組んでいるリサイクルや省エネ問題、さらには、地域の魅力ある自然や観光情報等の知識・課題などのSDGs的要素も加えて学び、環境問題をひとつの契機とした地域づくりを考えていただく。

2 実施高校

徳島県立海部高等学校

3 対象公共交通機関

今年、世界初のDMV営業運行を開始する阿佐海岸鉄道
(みんなを支えるマイレール)

4 活動の内容(例)

(1) 清掃活動

高校近隣の駅舎・周辺の定期清掃及び沿線の海岸清掃、
3, 4か月に1回程度の全駅舎清掃

(2) 美化活動

モードインターチェンジがある阿波海南駅前等に、四季の花を植えた
プランター等の設置

(3) 勉強会の開催

自然、環境保全、海洋汚染等に関する講師(学識者・企業担当者)による勉強会を開催し、自ら考え、自ら行動していく意欲醸成につなげる。

(4) 発表会・環境保全PR等

集会等で発表(リモート開催・報告書配布などを含む)又は県等と協働
でイベントブースでの環境保全PR活動

(5) 地域の自然・観光に関する啓発活動

(6) SNS等による発信

※ 新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、関係先と相談しながら実施する。

5 予算

資材購入(清掃用具、花苗・プランター等)、講師謝礼、交通費、保険料
等約18万円を予定

みなみから届ける環づくり会議 参加協働ワーキンググループ(参加協働部会)・メンバー表

順不同・敬称略

区分	団体名等	氏名	
会員	有限会社環境とまちづくり 代表	澤田 俊明	部会長
	日亜化学工業(株) 環境安全本部	西山 成実	
	大塚製薬(株)徳島ワジキ工場	白澤 直樹	
	阿南農業協同組合	宮野 稔大	
	NPOカルフネイチャーネットワーク	浅香 新八郎	
	NPOカルフネイチャーネットワーク	大梅 謙治	
	公益社団法人徳島森林づくり推進機構	亀井 貴志	
	四国旅客鉄道(株) 徳島企画部	吉田 好孝	
	四国旅客鉄道(株) 阿南駅	福井 芳宏	
	阿佐海岸鉄道株式会社	井原 豊喜	
	徳島バス(株) 営業部運輸課	粉川 眞一	
	徳島バス阿南(株)	千本 寿史	
	徳島バス南部(株)	千本 寿史	
	阿南市 市民部環境保全課	松田 愛	
	那賀町 環境課	徳永 高啓	
	美波町 住民生活課	向井田 雅史	
	牟岐町 住民福祉課	岩崎 晃司	
海陽町 住民環境課	坂賀 智也		
事務局	南部総合県民局 保健福祉環境部	岩佐 智佳	
	南部総合県民局 保健福祉環境部	北條 伸吾	
	南部総合県民局 保健福祉環境部	溝口 靖	主担当
	南部総合県民局 保健福祉環境部	吉本 孝幸	副担当

※ 参加協働WG＝参加協働WG＋交通WGが合体

※ 令和2年度末の情報を基に作成しています。

メンバーの変更等がありましたら事務局までご連絡ください。

みなみから届ける環づくり会議 水質ワーキンググループ(水質部会)・メンバー表

順不同・敬称略

区分	団体名等	氏名	備考
会員	阿南工業高等専門学校 創造技術工学科	川上 周司	部会長
	王子製紙(株)富岡工場 環境管理室	中西 光夫	
	王子製紙(株)富岡工場 環境管理室	栗飯原 英夫	
	日亜化学工業(株)環境安全本部 環境安全課	亀島 秀敏	
	新日本電工(株)徳島工場 事務部環境安全課	折野 幸治	
	(公社)徳島県環境技術センター	幸泉 有里	
事務局	南部総合県民局 保健福祉環境部	岩佐 智佳	
	南部総合県民局 保健福祉環境部	北條 伸吾	
	南部総合県民局 保健福祉環境部	出羽 達也	
	南部総合県民局 保健福祉環境部	山下 大輔	副担当
	南部総合県民局 保健福祉環境部	近藤 友宏	主担当
	南部総合県民局 保健福祉環境部	上松 健一郎	

※ 令和2年度末の情報を基に作成しています。

メンバーの変更等がありましたら事務局までご連絡ください。

みなみから届ける環づくり会議

ボランティア活動証明制度・表彰要項

令和3年度版（2021年度版）

1	ボランティア活動証明制度・表彰要項	P 1
2	様式1（申請書様式）	P 2
3	様式2（表彰状様式）	P 3
4	様式3（ボランティア活動証明制度に係る活動認定申請書様式）	P 4
5	様式4（ボランティア活動状況証明書様式）	P 5
6	申請書記載上などの注意	P 6
7	別紙1（ボランティア活動証明制度に係る活動時間等の基礎資料）	P 7
8	別紙2（ボランティア活動証明制度に係る活動補足資料）	P 8

みなみから届ける環づくり会議

事務局 徳島県南部総合県民局保健福祉環境部（阿南庁舎）

ボランティア活動証明制度・表彰要項

みなみから届ける環づくり会議（以下「環づくり会議」という。）が行う「ボランティア活動証明制度（以下「活動証明制度」という。）」に基づく表彰要項は次のとおりです。表彰基準算定方法に基づき、表彰基準を満たす生徒については、次により在籍高等学校等から申請してください。

1 表彰基準

項 目	基 準	備 考
環境保全活動・活動時間	50 時間	
環境保全活動・参加回数	20 回	

（基準の特例）上表基準は社会情勢等により調整することができる。（例・新型コロナの影響により、ボランティア活動の機会が減少した事例など）令和3年度の特例基準は、別記1のとおりです。

2 表彰基準算定方法

区 分	算定方法	算定の認定
①環づくり会議が提供するボランティアメニュー	○時間＝実数 ○回数＝実数	○環づくり会議が認定
②学校活動の一環としての環境保全ボランティア活動（校内での清掃活動は除く）		○学校の担任・顧問等が認定
③生徒自らが行った、公共施設や道路、町内会等での環境保全活動（清掃活動等）		
④環境保全に関する発表会・啓発活動、スキルアップのためのボランティア講座受講等	○時間＝1/2 ○回数＝実数	↓ ○申請に基づき、環づくり会議が最終認定
⑤環境保全以外のボランティア活動	○時間＝1/2 ○回数＝1/3	

※環境保全活動

清掃・リサイクル・エコ・気候・水質保全・林業保全などに関する活動

3 表彰及び活動証明書

(1) 表彰

学校からの申請により、環づくり会議が表彰基準を満たすと認定した者に対し表彰を行い、表彰状（様式2）と額縁、記念品等を贈ります。

(2) 活動証明書

活動時間数等の認定を受けたい場合、様式3で申請してください。（様式1で申請され、表彰を受けた場合は、活動証明書は同時に交付します。）

4 申請等

学校からの申請は随時受け付けています。

(様式1)

ボランティア活動証明制度に係る表彰等申請書

令和 年 月 日

みなみから届ける環づくり会議議長 殿

学校名

学校長名

印

次の者は、ボランティア活動証明制度に基づく表彰基準を満たしております。
つきましては、表彰及び活動時間等の認定をお願いしたいので申請します。

氏 名	(ふりがな：)
学 年	第 学年
現 住 所	
満たしている 表彰基準	活動時間 時間 参加回数 回 ※該当する箇所を「○」印で囲む
活動時間等の 算定資料等	算定基礎資料は別紙1のとおり (ボランティア活動手帳のコピーも添付)
高等学校 申請担当者 職氏名	職名 氏名 連絡先電話番号
備 考	(枚必要)

※表彰対象者が複数名になる場合は、氏名欄だけに「別紙〇〇人のとおり」と記載し、別紙1に複数名の情報を記入してください。

別記 1

■ 申請書記載上などの注意 **重 要**

- 令和 2 年度からの新型コロナ感染症対策により、令和 3 年度の 2・3 年生については、概ね 1 年間（1 2 か月間）の活動に影響をおよぼしたため、表彰基準を下表のとおり変更しますので、ご注意ください。（令和 3 年度の新入生は変更しません。）

【表彰基準の特例】（令和 3 年度の 2・3 年生の基準）

項 目	基 準	備 考
①環境保全活動・活動時間	3 4 時間	①基準の 2/3 に変更
②環境保全活動・参加回数	1 4 回	②基準の 2/3 に変更

- 1 様式 1
申請対象生徒が多数になる場合は、氏名欄だけに「別紙〇〇人のとおり」と記入し、別紙 1 に複数名の情報を記入してください、
- 2 様式 2
表彰を行う際の表彰状の様式です。表彰する際は、表彰状と筒と額縁を学校までお届けします。サイズは基本的に A 3 サイズの縦書きになります。
- 3 様式 3
活動時間数等の認定を受けたい場合の様式です。
- 4 様式 4
様式 1 及び様式 3 により申請された場合、この証明書を発行（表彰の場合は表彰状も作成）します。 ※必要枚数は、様式 1 及び様式 3 の備考欄に〇〇枚必要とご記入ください。
- 5 別紙 1
別紙 1 中の左記②～⑤の概要欄で記載できない量がある場合は、適宜セルを広げて記載してください。写真などの資料の提出は不要です。
- 6 別紙 2（表彰対象者分のみ必要。活動時間の証明の場合は不要です。）
別紙 2 には、概ねの活動状況と、評価・意見・補足をご記入ください。
- 7 その他留意事項
 - ① 当会議が提供したボランティアメニューのみで表彰基準を満たす場合、表彰は自動的に認定されることとなります。（この場合、別紙 2 の提出は不要です。）
 - ② 上記①以外の活動を認定する場合、別紙 1 に記載の時間・回数により認定していくこととなります。実際に活動したことがわかる写真等は不要ですので、部活の部長や顧問の先生が確認の上、証明してください。

ボランティア受入れ調査表

No	高等学校・阿南高専への提供情報												
	活動実施団体名	活動名	日時 活動時間	場所	集合時間 集合場所	募集 人数	主な活動内容	受入団体名	担当者名 (役職・氏名)	電話番号及び緊急 連絡先要携帯電話 番号	募集締切	保険加入 の有無	備考
例	千年サンゴと生きる まちづくり協議会	千年サンゴ 保全活動補助	7月及び11月 概ね9時～15時 (約6時間)	モラスコむぎ (牟岐町)	8時30分頃 モラスコむぎ	3～5名	サンゴ食巻貝 等の種類選別 及び個数確認	千年サンゴと活 きるまちづくり 協議会	(事務局) 徳島県南部総合県民局 保健福祉環境部	0884-28-9858 携帯 XXX-XXXX-XXXX	活動日の1 週間前まで	有	○駐車場有り ○JR牟岐駅から送迎有り。 ○飲み物・弁当支給有り ○帽子等の熱中症対策用品持参 ○着替え不要 ○作業に必要な道具類は準備不要
例	伊島ササユリ保全の会	伊島ササユリ 保全活動	11月下旬 概ね8:30～16:00	伊島	8時30分 答島港	5名以内	草刈り	伊島ササユリ保 全の会	(事務局) 阿南市環境保全課	0884-22-3413	適宜	有	乗船料：ササユリ保全の会が負担
例	伊島ササユリ保全の会	伊島ササユリ 保全活動	(R4年度予定) 6月上旬 概ね8:30～16:00	伊島	8時30分 答島港	5名以内	花の数調査	伊島ササユリ保 全の会	(事務局) 阿南市環境保全課	0884-22-3413	適宜	有	乗船料：ササユリ保全の会が負担

- ※ ボランティアメニューについては、制度の対象となる高等学校及び阿南工業高等専門学校に情報提供します。
- ※ 開催日時は、目安で記載してください。
- ※ ボランティアメニューをもとに、各学校から受入れ団体に照会があります。双方で調整を図ってください。
- ※ 本制度では、無償のボランティア（お弁当や交通費等の実費は可）を対象とし、報酬や換金性のある謝礼を受けるもの、職業・職場体験は除きます。